

平成27年3月期 第3四半期  
決算補足説明資料  
(連結)

平成27年2月13日

# 目次

課題と事業展開	… 3	補足資料(平成27年3月期通期業績予想)	
目指すべきビジネスモデル	… 4	業績予想(通期)	…15
損益計算書	… 5	サービス別売上高予想(通期)	…16
サービス別売上高	… 6		
営業費用	… 7		
損益計算書(四半期推移)	… 8		
サービス別売上高(四半期推移)	… 9		
営業費用(四半期推移)	…10		
貸借対照表	…11		
キャッシュ・フロー	…12		
お問い合わせ	…13		

# 課題と事業展開

## 課題

### ①利益成長

現時点における利益の伸長は緩やかであり、短期間で大きな成長を見込むのが難しい

### ②ユーザーニーズの多様化

ニーズの高度化・多様化に対応したソリューションも提供していかないと、市場競争力を失う可能性がある



## 事業展開

企業規模を拡大し、短期間でストック売上を大幅に積み上げることで、大きな利益成長を目指すために、5つの取組みを推進

新サービスの  
立上げ

業種特化型の  
取組みの強化

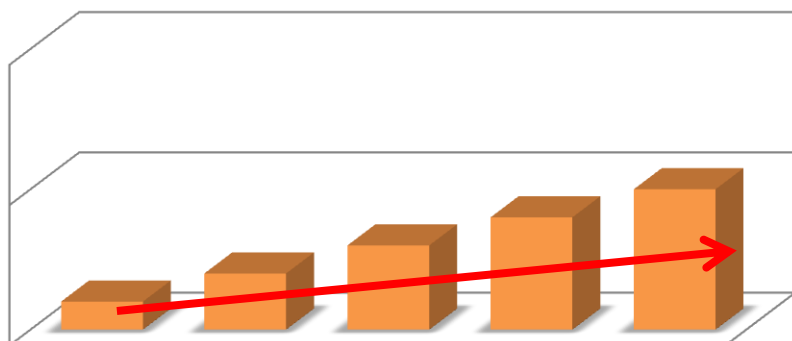
商材・サービスの  
ラインナップの拡充

営業稼働人員の  
大幅な増員

HPソリューション  
サービスの拡大

# 目指すべきビジネスモデル

## 現在のストック型ビジネス

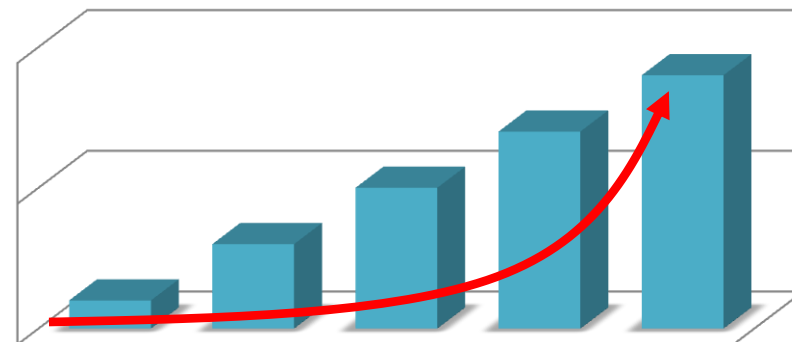


1ヶ月 2ヶ月 3ヶ月 4ヶ月 5ヶ月

■ ストック型収入

利益が緩やかに伸長

## 目指すべきストック型ビジネス



1ヶ月 2ヶ月 3ヶ月 4ヶ月 5ヶ月

■ ストック型収入

短期間での大きな成長

## ストック型ビジネスの特徴

開始時は、保有顧客アカウント数が少なく、ストック売上が少額となるため、費用が先行し、短期的に赤字を計上。その後は、保有顧客アカウント数の増加によるストック売上の成長にあわせ、安定的に利益を確保することができるモデル。

# 損益計算書

大規模な積極投資の推進に伴い、売上高は大幅に増加したものの、  
**営業利益以下の各区分利益において損失を計上**

【単位:百万円】	H26.3 3Q累計	売上比	H27.3 3Q累計	売上比	対前期 増減率	対前期 差額
売上高	3,374	100.0%	4,410	100.0%	+30.7%	+1,036
売上原価	802	23.8%	1,302	29.5%	+62.2%	+499
売上総利益	2,571	76.2%	3,108	70.5%	+20.9%	+536
販管費	2,504	74.2%	5,108	115.8%	+104.0%	+2,603
営業利益(△損失)	67	2.0%	△2,000	△45.3%	—	△2,067
経常利益(△損失)	92	2.7%	△2,026	△45.9%	—	△2,118
四半期純利益(△純損失)	79	2.4%	△2,055	△46.6%	—	△2,134

- » 新主力サービスであるシステム・メディアソリューションの本格立ち上げ等により、**売上高が30.7%増加**
- » 費用が先行する新主力サービスの立ち上げ等の推進により、**販管費が104.0%増加**
- » 結果、**営業利益以下の各区分利益において損失を計上**

# サービス別売上高

HPソリューションは、**堅調に推移**  
システム・メディアソリューションは、本格立ち上げに伴い、**大幅に増加**

【単位:百万円】	H26.3 3Q累計	構成比	H27.3 3Q累計	構成比	対前期 増減率	対前期 増減額
HPソリューション	3,374	100.0%	3,633	82.4%	+7.7%	+259
ストック売上	1,132	33.5%	1,248	28.3%	+10.3%	+116
フロー売上	2,242	66.5%	2,385	54.1%	+6.4%	+142
システム・メディアソリューション	—	—	776	17.6%	—	+776
ストック売上	—	—	223	5.1%	—	+223
フロー売上	—	—	552	12.5%	—	+552
<b>売上高</b>	<b>3,374</b>	<b>100.0%</b>	<b>4,410</b>	<b>100.0%</b>	<b>+30.7%</b>	<b>+1,036</b>

※1:HP(ホームページ)ソリューションは、旧商材ITパッケージと新商材クラウドパッケージの他、ヤフー商材、WEB広告、WEB制作等の売上高を示します。

※2:システム・メディアソリューションは、ポータルサイトの運営・広告掲載、予約・顧客管理システム等の売上高を示します。

※3:ストック売上は、サービス料(月額課金)の売上高を、フロー売上は、初期導入費用(導入初月に一括計上)の売上高を示します。

- » HPソリューションは、ストック売上とフロー売上がともに堅調に推移し、**前期比で7.7%増加**
- » システム・メディアソリューションは、本格立ち上げに伴い、**大幅に増加**
- » 結果、**売上高は30.7%増加**

# 営業費用

売上高の大幅な増加に伴い、**売上原価が増加**  
営業稼働人員の大幅な増員等の影響により、**販管費が大幅に増加**

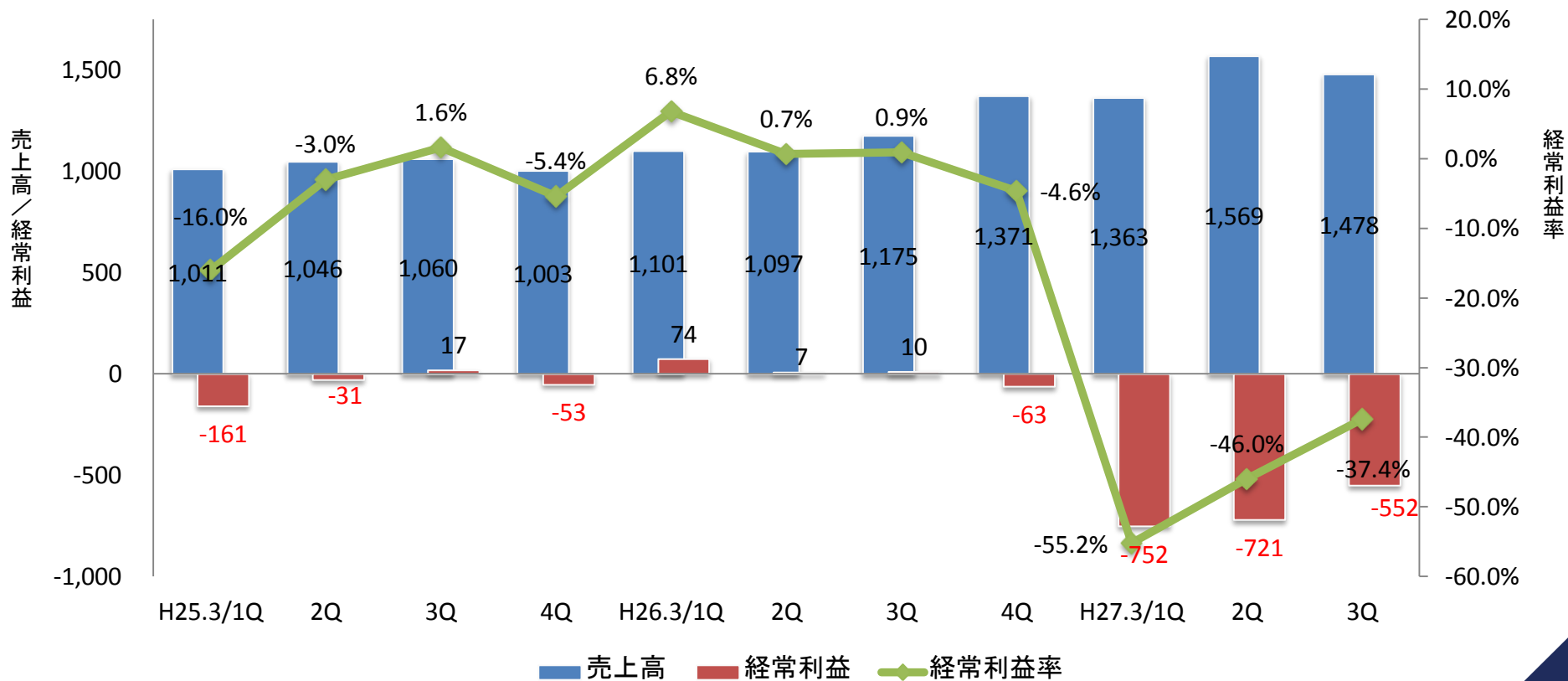
【単位:百万円】	H26.3 3Q累計	売上比	H27.3 3Q累計	売上比	対前期 増減率	対前期 差額
売上原価	802	23.8%	1,302	29.5%	+62.2%	+499
人件費	1,532	45.4%	2,994	67.9%	+95.5%	+1,462
地代家賃	180	5.3%	273	6.2%	+51.7%	+93
旅費交通費	174	5.2%	335	7.6%	+92.1%	+160
その他販管費	617	18.3%	1,504	34.1%	+143.6%	+887
販管費	2,504	74.2%	5,108	115.8%	+104.0%	+2,603
営業費用	3,307	98.0%	6,410	145.3%	+93.8%	+3,103

- » システム・メディアソリューションの本格稼働による営業稼働人員の大幅な増員の影響等により、**販管費が104.0%増加**
- » 結果、売上高の増加に伴い、売上原価も増加したため、**営業費用は93.8%増加**

# 損益計算書(四半期推移)

売上総利益の増加と販管費の減少等に伴い、**損失額が縮小**

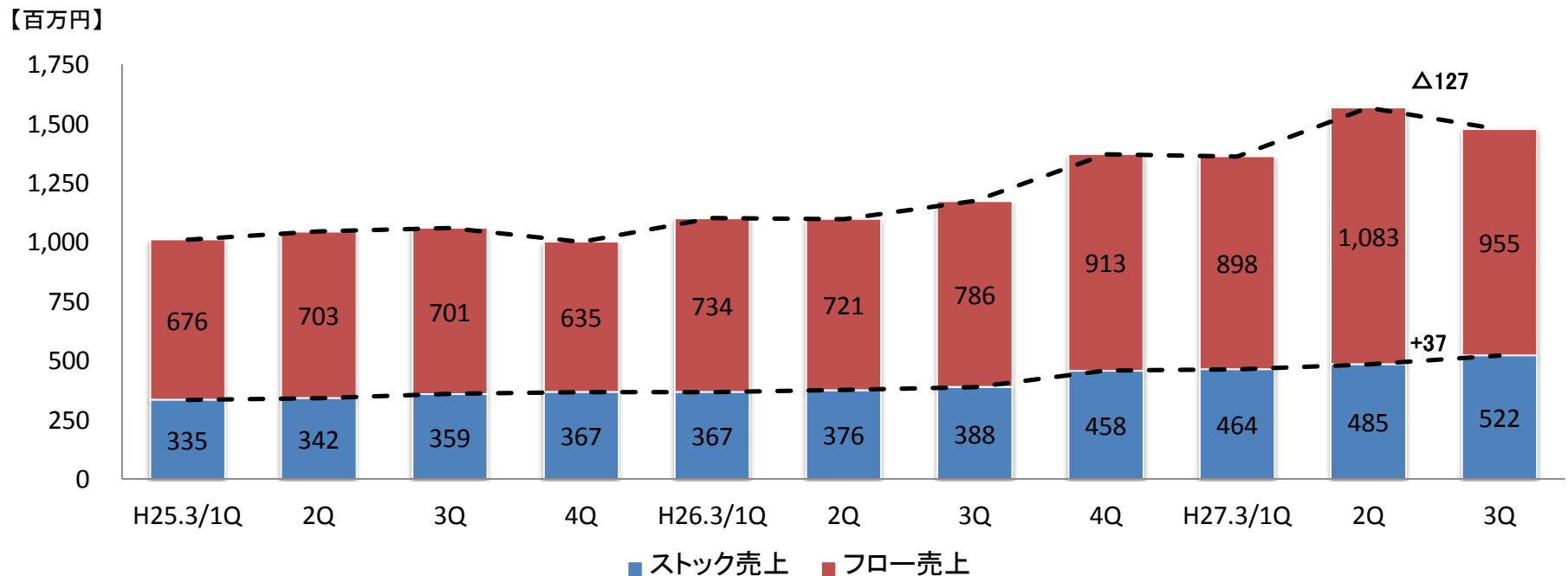
【百万円】





# サービス別売上高(四半期推移)

保有顧客アカウント数の増加に伴い、**ストック売上が増加**  
一時的な収入の減少等により、**フロー売上は減少**



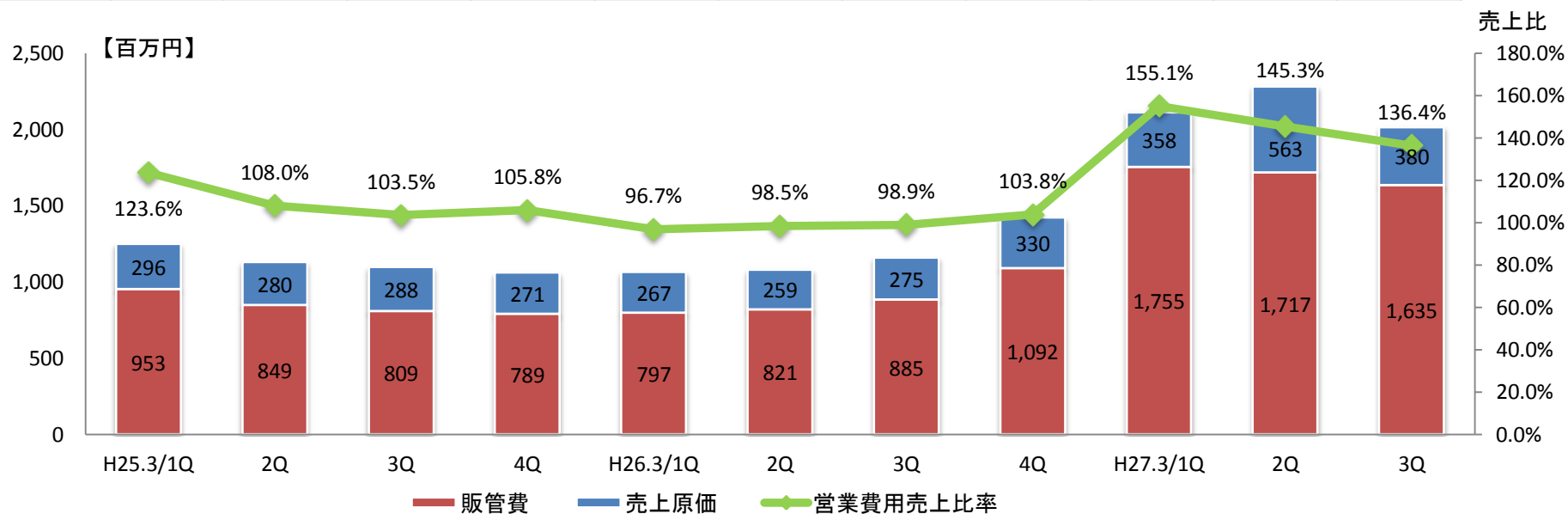
## 第3四半期の状況 (前四半期比較)

- » 保有顧客アカウント数の増加に伴い、**ストック売上が増加**
- » 前四半期はシステム・メディアソリューションにおいて一時的な収入があったため、**フロー売上は減少**
- » 結果、フロー売上の減少の影響により、**売上高は減少**

# 営業費用(四半期推移)

売上原価と販管費がともに減少し、**営業費用が減少**

営業費用	1,250	1,129	1,098	1,060	1,064	1,080	1,161	1,423	2,113	2,280	2,016
売上比	123.6%	108.0%	103.5%	105.8%	96.7%	98.5%	98.9%	103.8%	155.1%	145.3%	136.4%



第3四半期の状況（前四半期比較）

- » 売上高の減少等に伴い、**売上原価が32.3%減少**
- » 採用費の減少等に伴い、**販管費も4.8%減少**
- » 結果、**営業費用は11.6%減少**

# 貸借対照表

大規模な積極投資の推進により、**純資産が減少し、負債が増加**

【単位:百万円】	H26.3末	構成比	H26.12末	構成比	対前期末 増減率	対前期末 差額
流動資産	2,033	57.7%	1,668	46.0%	△17.9%	△364
固定資産	1,487	42.3%	1,955	54.0%	+31.5%	+468
<b>資産 合計</b>	<b>3,520</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,624</b>	<b>100.0%</b>	<b>+2.9%</b>	<b>+103</b>
流動負債	937	26.6%	2,758	76.1%	+194.2%	+1,820
固定負債	403	11.5%	729	20.1%	+80.5%	+325
<b>負債 合計</b>	<b>1,341</b>	<b>38.1%</b>	<b>3,487</b>	<b>96.2%</b>	<b>+159.9%</b>	<b>+2,145</b>
<b>純資産 合計</b>	<b>2,179</b>	<b>61.9%</b>	<b>137</b>	<b>3.8%</b>	<b>△93.7%</b>	<b>△2,042</b>
<b>負債・純資産 合計</b>	<b>3,520</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,624</b>	<b>100.0%</b>	<b>+2.9%</b>	<b>+103</b>

- » 現金及び預金の減少等により、**流動資産が減少**
- » 商材・サービスの開発推進によるソフトウェア等の増加により、**固定資産は増加**
- » 短期借入金及び未払金の増加等により、**流動負債が増加**、長期借入の実行等により、**固定負債も増加**
- » 四半期純損失の計上による利益剰余金の減少等により、**純資産が減少**

# キャッシュ・フロー

大規模な積極投資の推進によるフリー・キャッシュ・フローのマイナスにより、**現金及び現金同等物が減少**

【単位：百万円】	H26.3 3Q累計	H27.3 3Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	+237	△1,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83	△774
財務活動によるキャッシュ・フロー	+22	+1,560
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	+177	△684
現金及び現金同等物の四半期末残高	+1,501	+567

- » 積極投資の推進による税金等調整前四半期純損失の計上等により、**営業CFはマイナス**
- » 商材・サービスの開発推進による無形固定資産の取得や投資有価証券の取得等により、**投資CFはマイナス**
- » 長期借入による収入等により、**財務CFはプラス**
- » 結果、フリー・キャッシュ・フローのマイナスにより、**現金及び現金同等物の四半期末残高は減少**

### お問い合わせ先

株式会社アイフラッグ 管理本部 管理部 (IR担当)

Tel 03-5733-4492

Mail [ir@iflag.co.jp](mailto:ir@iflag.co.jp)

### IRインフォメーション

株式会社アイフラッグ IRページ

<http://www.iflag.co.jp/ir.html>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が入手している情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により、本資料に記載されている情報と大きく異なる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられる情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料の業績見通し等のみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製、または転送等を行われぬようお願いいたします。

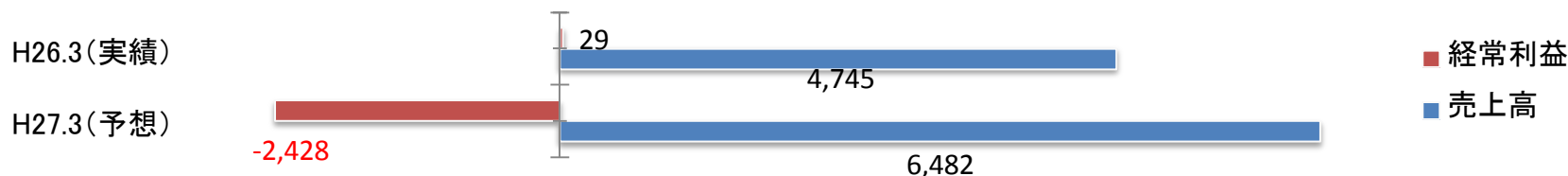
# 補足資料

## 平成27年3月期通期業績予想

— 平成 26 年11月11日公表分 —

## 業績予想(通期)

【単位:百万円】	H26.3通期 (実績)	売上比	H27.3通期 (予想)	売上比	増減率	増減額
売上高	4,745	100.0%	6,482	100.0%	+36.6%	+1,736
売上原価	1,133	23.9%	1,686	26.0%	+48.8%	+553
売上総利益	3,612	76.1%	4,795	74.0%	+32.8%	+1,183
販管費	3,597	75.8%	7,192	111.0%	+99.9%	+3,594
営業利益(△損失)	14	0.3%	△2,396	△37.0%	—	△2,411
経常利益(△損失)	29	0.6%	△2,428	△37.5%	—	△2,457
当期純利益(△純損失)	8	0.2%	△2,468	△38.1%	—	△2,477



- » 新主力サービスであるシステム・メディアソリューションの本格立ち上げ等により、**売上高が36.6%増加の見込み**
- » 費用が先行する新主力サービスの立ち上げ等の推進により、**販管費が99.9%増加の見込み**
- » 結果、**営業利益以下の各区分利益において損失を計上する見通し**

# サービス別売上高予想(通期)

【単位:百万円】	H26.3通期 (実績)	構成比	H27.3通期 (予想)	構成比	増減率	増減額
HPソリューション	4,619	97.3%	4,785	73.8%	+3.6%	+166
ストック売上	1,528	32.2%	1,634	25.2%	+6.9%	+105
フロー売上	3,090	65.1%	3,150	48.6%	+2.0%	+60
システム・メディアソリューション	126	2.7%	1,696	26.2%	+1,241.8%	+1,570
ストック売上	61	1.3%	357	5.5%	+483.1%	+296
フロー売上	65	1.4%	1,338	20.7%	+1,948.4%	+1,273
売上高	4,745	100.0%	6,482	100.0%	+36.6%	+1,736

※ H26.3通期(実績)及びその構成比につきましては、従来のIT支援売上のうち、株式会社スフィードの売上をシステム・メディアソリューションのストック及びフロー売上に、その他の売上をHPソリューションのフロー売上に変更しています。

- » HPソリューションは、ストック売上与フロー売上がともに堅調に推移し、**3.6%増加する見込み**
- » システム・メディアソリューションは、本格立ち上げに伴い、**大幅に増加する見込み**
- » 結果、**売上高は36.6%増加する見通し**